「金融仲介機能の発揮に向けた取り組みについて」

2026(令和 8)年 3 月末基準の取り組み実績

萩山口信用金庫

基本的な考え方

当金庫は、「経営理念・基本方針（※）」や「経営計画」等により、金融仲介機能を発揮して、お取引先企業等の健全な発展や地域経済の持続的な繁栄に貢献すべく取り組んでおります。

こうした中、２０１６（平成２８）年９月、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として「金融仲介機能のベンチマーク（※※）」が金融庁から公表されました。

当金庫では、このベンチマークを当金庫の金融仲介機能の発揮に向けた取り組み状況としてお客さまに対して開示するとともに、「経営理念」や「経営計画」等の実現に向けて自己点検・自己評価などのツールとして活用していき、お取引先企業の価値向上等に資する金融仲介機能の質をより一層高めていくよう努めてまいります。

※経営理念・基本方針（萩山口信用金庫の「目指す姿」と「ビジネスモデル」）

萩山口信用金庫の目指す姿について
◇経営理念（ビジョン）
・豊かな国民生活の実現　・中小企業の健全な発展　・地域社会繁栄への奉仕
◇基本方針　～豊かで活力のある地域社会づくりに貢献します～
・ルールを遵守し社会的責任を遂行します　・健全で調和の取れた経営に徹します　・地域の皆様の繁栄に奉仕します　・職員とその家族の幸福を支えます
◇目指す姿
「まず萩山口信金！」「それなら萩山口信金！」「やっぱり萩山口信金！」
・お客さまが、困り事があった時、相談事があった時、真っ先に思い浮かぶ。そんな存在に。
◇お客様の支援態勢・4 つの柱
・街づくりへの積極支援　・個人顧客への利便性提供　・中小企業の徹底サポート　・連携体との協働
◇強み
・近くて便利　・長期的な信頼関係　・きめ細やかで親切　・地域内外のネットワーク
萩山口信用金庫のビジネスモデルについて
・本業重視の経営　・コンサルティング営業の強化　・地公体との連携による地域経済への貢献　・連携体との協働

※※「金融仲介機能のベンチマーク」

金融庁が２０１６（平成２８）年９月に、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として策定・公表したものです。具体的な項目は、全ての金融機関が金融仲介の取り組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」、そして、各金融機関が任意・独自に設定できる「独自ベンチマーク」で構成されています。

共通ベンチマーク

全ての金融機関が金融仲介の取り組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能なベンチマークです。

(1) 取引先企業の経営改善や成長力の強化

○当金庫がメインバンク（融資残高１位）として取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数（先数はグループベース。以下断りがなければ同じ）、及び、同先に対する融資額

	2024(令和 6)年 3 月末現在	2025(令和 7)年 3 月末現在	2026(令和 8)年 3 月末現在
メイン先数	１，１９９先	１，２０１先	１，２１７先
メイン先の融資残高	４２９億円	４００億円	４１０億円
経営指標等が改善した先数	３０７先	２９５先	２７５先
	2024(令和 6)年 3 月末現在	2025(令和 7)年 3 月末現在	2026(令和 8)年 3 月末現在
経営指標等が改善した先に係る事業年度末の融資残高	１９７億円	１１９億円	１３９億円

・メイン先は、融資残高１位の先としています。

・経営指標等が改善した先は、２期の売上高増加率 100%以上、経常利益率前年比増加を共にクリアした先や従業員増加先としています。

(2) 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

○当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

	2024(令和 6)年 3 月末現在				2025(令和 7)年 3 月末現在				2026(令和 8)年 3 月末現在			
	条件変更総数	好調先	順調先	不調先	条件変更総数	好調先	順調先	不調先	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	１７２先	５先	３７先	１３０先	１８１先	４先	４２先	１３５先	１７１先	８先	５１先	１１２先

・経営改善は、売上高を指標としています。（好調 120%以上、順調 80~120%未満、不調 80%未満）

○当金庫が関与した創業、第二創業の件数

	2024(令和 6)年 3 月末現在	2025(令和 7)年 3 月末現在	2026(令和 8)年 3 月末現在
当金庫が関与した創業件数	４４件	３８件	４９件
当金庫が関与した第二創業件数	０件	０件	０件

選択ベンチマーク

当金庫のビジネスモデルや経営計画等に基づき自主的に選択した「選択ベンチマーク」の実績です。

(1) 地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

○全取引先数と地域の取引先数、及び、地域の企業数との比較（先数単体ベース）

	2024(令和6)年3月末現在				2025(令和7)年3月末現在				2026(令和8)年3月末現在			
	地元		地元外		地元		地元外		地元		地元外	
	主要地域	準地域	山口県内	その他	主要地域	準地域	山口県内	その他	主要地域	準地域	山口県内	その他
全取引先数	２，３０８先				２，３４２先				２，３８０先			
地域別の取引先数	２，２３３先		７５先		２，２５０先		９２先		２，２７９先		１０１先	
	２，２２２先	１１先	５０先	２５先	２，２３７先	１３先	６２先	３０先	２，２６５先	１４先	６８先	３３先
地域別の企業数	２０，６７８先				２０，１０４先				２０，１０４先			
	１７，１０６先	３，５７２先			１６，６７５先	３，４２９先			１６，６７５先	３，４２９先		

・地域の区分は、主要地域：山口市・防府市・萩市・長門市・阿武町　準地域：美祢市・益田市　山口県内：宇部市・下関市等　その他：広島県・東京都等としています。

・地域別の企業数は、内閣官房・経済産業省「地域経済分析システム（ＲＥＳＡＳ）」より作成しています。

○メイン取引（融資残高１位）先数、及び、全取引先数に占める割合（先数単体ベース）

	2024(令和6)年3月末現在	2025(令和7)年3月末現在	2026(令和8)年3月末現在
メイン取引（融資残高１位）先数	１，２８０先	１，２８９先	１，３１３先
全取引先に占める割合	５５．５％	５５．０％	５５．２％

・グループは考慮せず、融資残高１位のみを抽出しています。

(2) 事業性評価に基づく融資等、担保・保証に過度に依存しない融資

○経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合

	2024(令和6)年3月末現在			2025(令和7)年3月末現在			2026(令和8)年3月末現在		
	全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②/①	全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②/①	全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②/①
経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合	２，３０８先	４０９先	１７．７％	２，３４２先	４１５先	１７．７％	２，３８０先	３８２先	１６．１％

(3) 本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

○創業支援先数（支援内容別）

	2024(令和6)年3月末現在					2025(令和7)年3月末現在					2026(令和8)年3月末現在				
	支援①	支援②(プロパー)	支援②(信用保証付き)	支援③	支援④	支援①	支援②(プロパー)	支援②(信用保証付き)	支援③	支援④	支援①	支援②(プロパー)	支援②(信用保証付き)	支援③	支援④
創業支援先数（支援内容別） ① 創業計画策定支援 ② 創業期の取引先への融資（プロパーと信用保証付きの区別） ③ 政府系金融機関や創業支援機関の紹介 ④ ベンチャー企業への助成金・融資・投資	３１先	５４先	５８先	１１先	０先	１９先	４８先	６２先	１２先	０先	１４先	３２先	６４先	８先	０先

独自ベンチマーク

当金庫が任意・独自に設定できるベンチマークです。営業サポート部が中心となって取り組んでいます。

○ビジネスマッチングの商談件数、及び、成約件数

		2024(令和6)年3月末現在	2025(令和7)年3月末現在	2026(令和8)年3月末現在
ビジネスマッチングの商談・成約件数	商談件数	１６５件	―	―
	成約件数	２６件	１６件	２９件

（注）ビジネスマッチングの商談件数は計測部署（営業サポート部）が2024(令和6)年度分以降計測を中止したことからデータなし。

○各種補助金支援、及び、助成金支援採択件数

	2024(令和6)年3月末現在	2025(令和7)年3月末現在	2026(令和8)年3月末現在
各種補助金支援、及び、助成金支援採択件数	８２件	３６件	１３件

以　上